

令和2年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	K.CATフォーラム	事業経緯	継続	実施体制	協賛	担当所属	金沢支所
事業名 (大項目)	専門的知識・技術の普及・伝承に関する事業	分類名 (中項目)	講習・講座・セミナー事業			事業区分	講座、セミナー、育成

1. 事業目的

本事業は、日頃から金沢のまちづくりに関わる学識者、経済人、行政などが一個人として立場を離れた中で集まり、専門的・多角的な視点から、金沢の都市と交通のあり方について、その方向性や施策を行政に提言、市民への提案・啓発を行うことを目的に開催する。

2. 事業実施体制

主催: K.CAT(金沢の都市と交通を考える会)
 協賛: (一社)北陸地域づくり協会
 後援: 金沢市

3. 事業実施概要

◆第20回K.CATフォーラム

テーマ: Withコロナ時代の金沢のまちづくりを考える

日時: 令和3年2月13日(土) 14:00~16:30

場所: TKP金沢 新幹線口会議室

プログラム:

- ・開会・挨拶・主旨説明
- ・プレゼンテーション
「住む・暮らす」「働く・学ぶ」「遊ぶ・憩う」の3つの観点から発表
- ・ディスカッション
- ・コメント(国土交通省金沢河川国道事務所長)
- ・総括(K.CAT代表)

参加者: 実会場29名、Web参加57名 計86名

◆定例会

- ・フォーラムに向けた定例会の開催
- 参加者: のべ141名(8回)

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

K.CAT(金沢の都市と交通を考える会)は平成10年12月、金沢大学の高山純一教授を代表に発足し、フォーラムをこれまで19回開催してきた。毎回テーマは異なるが、公共交通、自転車、北陸新幹線、歴史文化遺産、広域連携、観光、コンパクトシティ、地方創生など、地方都市が抱える課題に対応したものが多い。会のメンバーは、大学教授などの学識者をはじめ、経済人、国・県・市の行政担当者、建設コンサルタントなどであり、まさに産学官が一体となって、金沢の都市と交通について提言しており、このようなネットワークはたいへん貴重である。参加者にとって都市計画や交通についての知識が深まることはもとより、国や自治体の施策立案にもつながり、有益な取り組みとなっている。



代表挨拶・主旨説明



プレゼンテーション



ディスカッション

← コメント、総評

